

新生活についてのご報告

第6期 OB 横内 拓幸

月日が経つのは本当に早いもので、昨年の春に大学（小野ゼミ）を卒業してから、気がつけばあと少しで、1年を迎えるというところまで来てしまいました。学生から社会人へという大きな変化のなかで戸惑うことが多々ありましたが、少しずつではありますが、新生活にも慣れてきたところです。そのような激動の1年であった昨年を、簡単にまとめさせていただきたいと思います。

私は3月に大学を卒業し、4月に明治製菓株式会社に入社致しました。お菓子が有名な明治製菓といっても、私が配属となった事業は、薬品を取り扱う部門の営業、いわゆるMRというやつです。

◆4～9月 研修生活（本社）

新入社員は入社してから半年間は薬品という特殊な財をあつかう以上、専門的な知識が必要とされる業界なので、勉強漬けの毎日でありました。しかし長い時間同期と一緒に時間を共有できたということは非常に良いもので、どの企業よりも同期の仲だけは良いと自負しております。なにより「半分社会人、半分学生」という給料をもらいながら勉強するという、非常に良い身分でした。



同期と（著者は右後方）

◆10月～ 本配属（愛知県名古屋市）

半年間の実習を終え、ついに発表された本配属先は、「名古屋支店名古屋第一営業所」でした。覚悟はしていたのですが、やはり縁もゆかりもない所に配属が決まるというのは非常に不安なものでありました。仕事面の方というのは、薬品という4Pで言う、価格が規制された業界の営業職であること、また顧客が医者ということで一般消費者ではないことなど、小野ゼミでやってきたこととは違う一面もあり、奥深いと感じる場面が多々あります。しかし相手のニーズを掘り起こし、そこに対して自社品のメリットを訴えかけるという、小野ゼミで学んできたことは今の仕事でも役立っていると感じることは多々あります。いずれは私も、営業職からマーケティング部門に行き、この業界でのマーケターとして活躍したいという次のビジョンもありますので、それに向かって、今は日々の業務に邁進していきたいと考えているところです。

まとまりのない文章になってしまいましたが、この場を借りて皆様に近況報告させて頂いたことを嬉しく思います。社会人1年目はあまりに多くの変化があり、まだ落ち着かない日々を送っていますが、自分の次のビジョン実現のため、着実に仕事をこなしていきたいと考えます。